

文化課関係

1 文化芸術振興事業

(1) 文化芸術事業

事業名	期間	内 容	参加・入場者等
第41回 鹿沼市民 文化祭	9.28 ～ 12.8	市民の自主的・創造的な芸術文化活動の支援と本市文化の向上を図ることを目的として、市民文化センターを主会場に4部門・23事業を実施した。	参加者 2,025人 入場者 6,520人 合計 8,545人
第48回 市民美術展	7.24 ～ 7.28	美術を志す若者の登竜門的な美術展で、市民文化センターを会場に開催した。	出品数 95点 内訳 一般65点 招待30点 入場者 698人
第47回 市民書初め展	1.15 ～ 1.19	市民書道愛好家の底辺拡大及び会派を越えた交流の場として、市民文化センターを会場に実施した。	出品者 107人 入場者 502人
市民文化芸術 交流の日	8.25	世代を超えた市民が新しい文化芸術をともに創るため、交流を深める日を8月第3日曜日と定めた。その呼称を「meet with KANUMA」とし、記念イベント「市役所にいちごの絵をかこう！」を実施した。	参加者 175人
移動芸術教室	6.7	青少年に優れた公演を直接鑑賞する機会を提供し、芸術文化活動への機運を醸成するため、(公財)日本青少年文化センターと共催で、津田小学校で移動音楽鑑賞教室「オペラってなあに？」を開催した。	児童 197人 教職員等 20人 合計 217人

(2) 文化団体育成事業

事業名	内 容	金 額
団体運営補助事業	本市の中核的な文化団体である「鹿沼市文化協会」への運営補助を行うとともに、市内の文化活動団体が主催する文化事業への後援等の支援を行った。	579,000円
市民音楽活動支援事業	青少年の音楽活動の底辺拡大を図るため、「鹿沼ジュニアフィルハーモニーオーケストラ」への運営補助及びコンサート活動への後援を行った。	1,000,000円
	音楽を通して青少年の健全育成と豊かな情操を培うため、「さつきドリーマーズバトントワーリング」と「さつきドリーマーズマーチングバンド」の運営補助を行った。	2,000,000円

2 文化芸術施設管理・運営

(1) 市民文化センター

指定管理者に委託し、管理・運営を行った。

ア 委託先 公益財団法人かぬま文化・スポーツ振興財団

イ 委託内容

- (ア) 施設等の維持管理に関すること。
- (イ) 施設の利用に関すること。
- (ウ) 使用料の収納に関すること。
- (エ) 文化振興事業の推進に関すること。

ウ 委託料

公益財団法人かぬま文化・スポーツ振興財団 186,149,310 円

※公益財団法人かぬま文化・スポーツ振興財団の事業実績は、本書末尾に記載のとおり（体育文化施設利用状況、体育文化事業実施状況）。

エ 利用人数

単位／人

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
入館者数	4,758	8,717	14,212	13,006	10,915	6,566

区 分	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
利用者数	15,380	13,201	9,226	9,896	6,775	926	113,578

オ 施設改修工事

長寿命化を図るため、計画的修繕を実施した。

施工場所	内 容	金 額
プラネタリウム等屋上	防水改修工事 870.1 m ²	23,408,000 円

(2) 千葉県三記念館

ア 利用人数 822 人

3 文化財保護事業

(1) 文化財保護審議会

ア 会議

名 称	月 日	会 場	内 容	出席者
文化財 保護審議会	5. 8	市民文化センター中会議室	部会の構成・運営、有形文化財指定の諮問、令和元年度文化財係の事業、部会長互選、部会の活動について	11 人
	9. 30	市民文化センター中会議室	史跡指定の諮問、有形文化財指定の答申、天然記念物指定の答申	11 人
	3. 25	市民文化センター中会議室	ザゼンソウ群落の指定、久我神社の弓引き行事、有形文化財所有者変更、台風 19 号による文化財被災状況の報告、有形文化財指定の答申、史跡指定の答申	12 人

イ 調査・研修等

名 称	内 容	出席者
第1部会	福田家見世蔵・洋館・妙見菩薩像調査 姫宮神社本殿・妙見菩薩像報告書作成	のべ4人
第2部会	岩裂神社の鰐口調査及び報告書作成 北赤塚一里塚報告書作成	のべ7人
第3部会	北半田天満宮調査、久我神社の弓引き行事報告書作成	のべ9人
第4部会	ザゼンソウ群落・タラヨウ・富士山のコガシザサ調査 ザゼンソウ群落報告書作成	のべ10人

(2) 文化財の指定と保護

ア 指定

名 称	員数	種 別	所在地	所有者	指定日
妙見寺半鐘	1口	有形文化財(歴史資料)	口栗野 3178	宗教法人妙見寺	10.24

イ 保護事業

事業名	内 容	補助金額
指定文化財 保護事業	今宮神社祭の屋台行事に使用する屋台の収蔵施設を所有する3自治会に、その地代を補助した。	221,000円
	今宮神社祭の屋台行事を継承するため、下材木町屋台の修理に対し、補助金を交付した。	1,114,000円
	発光路の強飯式の後継者育成事業に対し、補助金を交付した。	50,000円
	久野獅子舞衣装更新事業に対し、補助金を交付した。	500,000円
	録事尊縁起関連資料石造物修理事業に対し、補助金を交付した。	275,000円

(3) 埋蔵文化財

内 容	月 日	説 明
発掘調査	通年	宅地造成に伴う明神前遺跡(上殿町)、市庁舎建設に伴う鹿沼城跡の発掘調査を実施した。
市内遺跡 試掘確認調査	通年	認定こども園建設に伴う口栗野桑沢遺跡、集合住宅建設に伴う明神前遺跡(上殿町)、店舗建設に伴う久分遺跡(下永野)など、本調査の必要性の有無等を把握するための確認調査を6件実施した。
出土遺物整理	通年	明神前遺跡(上殿町)などの発掘調査により出土した遺物を整理した。

(4) 郷土資料調査・保存・活用

内 容	月 日	説 明
郷土資料の収集と調査	通 年	17家・団体の古文書等の収集・調査、歴史的公文書の選別・収集を行った。
郷土資料の整理と保存・活用	通 年	資料の公開・活用を図るため、マイクロフィルム 229 本、「板荷村亀絵図」等 3 点の絵図のデジタル化を実施した。
	3 月～	展示が困難な資料のうち、デジタル化の済んだ 3 点を加え、11 点を市ホームページで公開した。
	通 年	栗野コミュニティセンター内の自然史資料室において、昆虫標本を中心に、資料の整理・分類作業を実施した。
	通 年	郷土愛教育推進のため、小中学校での出前講座を 3 校、資料貸し出しを 9 校で実施し、授業支援を推進した。
刊行物の販売	通 年	文化課・図書館等で、『鹿沼市史』関連書籍 62 冊 (123,200 円)、文化財関連書籍 13 冊 (16,000 円) を販売した。

4 鹿沼まるごと博物館と展示施設管理

(1) 施設管理・運営

施 設 名	内 容	入館者数
文化活動交流館 郷土資料展示室	彫刻屋台、名誉市民・郷土の人々、歴史年表、遺跡と出土遺物、生活に関する民俗資料等を展示。郷土資料展示室管理運営協議会に案内と施設管理を委託し、地域文化の保護および活用に努めた。	6,300 人
仲町屋台公園 屋台展示収蔵庫	仲町屋台維持管理協議会に委託し、展示収蔵庫の維持管理を行った。	—
栗野歴史民俗資料館	栗野地域の特徴を生かし、麻をテーマとした展示替えを行い、入館者増を図った。	3,243 人
木のふるさと 伝統工芸館	彫刻屋台、伝統工芸品を展示。石橋町自治会に管理を委託し、展示案内、組子体験教室等を実施し、木のまちかぬまのイメージアップを図った。 【組子体験】 683 人	10,411 人

(2) 鹿沼まるごと博物館

鹿沼まるごと博物館は、市全域を博物館として捉え、従来の博物館資料はもちろん、美しい自然やまち並み、祭りや伝統の技といった建物に収まらない地域資源にも目を向ける総合的な博物館で、平成 27 年度に策定した「鹿沼まるごと博物館基本計画」に基づき、事業を推進した。

ア 会議

名 称	月 日	会 場	内 容	出席者
まるごと 博物館 運営協議会	9.10	市民文化 センター 中会議室	平成 30 年度事業報告・令和元年度事業 計画、市民学芸員の認定・養成、分館・ 地域拠点施設へのシンボルマーク設置 について	7 人

イ 各種事業

内 容	月 日	説 明
「かぬまの 生きものたち」展	7.21～ 8.10	文化活動交流館で開催し、昆虫標本の活用を図った。 入場者数 986 人。会期中、標本作成等の講座を 3 回実 施し、延べ 69 人が参加した。
「二宮尊徳と 久保田讓之助」展	12.1～ 12.22	第 5 回企画展として文化活動交流館で開催した。入場 者数 825 人。関連イベントとして記念講演会、講座、 バスツアーを実施し、延べ 173 人が参加した。
シンボルマーク設置	3 月～	「鹿沼まるごと博物館」の施設や地域資源を来訪者に わかりやすくするため、9 か所にシンボルマークを設 置し、ネットワーク化を推進した。